

第3回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（小学校・義務教育学校【前期課程】）

第3地区部会 議事要旨

1 日 時 令和5年7月4日（火）午後1時00分～午後4時30分

2 会 場 大阪市教育センター 講義室

3 出席者

（委員）

富山地区部会長、森委員、有富委員、井城委員、稲嶺委員、奥田委員、山口委員

（事務局）

瀬脇首席指導主事、高松総括指導主事、片田総括指導主事、松田指導主事

4 議 題

（1） 各調査会の報告及び質疑について

5 議事要旨

（1） 事務局より、各調査研究の経過について報告を行った。

（2） 各調査会の報告を踏まえて専門調査会調査結果について議論し、書写以外の種目について、案のとおり了承された。

（3） 意見等の概要は以下のとおり

【書写】

- ・ 学校調査会の結果と専門調査会の結果の差異について、説明が分かりづらい。
→専門調査会を再度実施し、次回地区部会にて調査結果を再審議する。

【算数】

- ・ 4－①について2者の差異を具体的に説明してほしい。
→英語での言い換え等にとどまらず、複数箇所、他教科と関連する場面を取りあげて算数で解決している点。

【図画工作】

- ・ 学校調査会の結果と専門調査会の結果の差異は、クリエイティブな要素の広がりによるものか。
→加えて、材料のバリエーションの豊富さも評価している。

【保健】

- ・ 僅差の中でより優位性のある1者を決めたポイントは何か。
→当地区の特徴である、海外からの帰国子女や家庭で日本語を使いづらい児童がいることへの配慮とともに、多様性を尊重する態度の育成に配慮がみられる点。

【英語】

- ・ 表現を覚える活動も大切だが「書く」活動が多いことも有効ではないか。
→書くことに時間を取られすぎ、「話す・伝え合う」「聞く」の活動が十分できない可能性があることに鑑み、フレーズを繰り返し学習できるような工夫がある発行者を、より優

位性のある１者とした。

(４) 今後の流れ

- ・ 次回、７月１２日（水）の第４回選定委員会地区部会で、書写の再審議と、全種目の答申資料についての審議を行い、決定する。

６ 会議資料

- (１) 令和６年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について
- (２) 調査の観点（第３地区版）
- (３) 学校調査会調査集約結果
- (４) 学校調査会（代表的コメント一覧）
- (５) 専門調査会調査結果
- (６) 定量的調査資料
- (７) 教科書展示会アンケート集約結果（第１次）
- (８) 答申資料（案）